

(S29-42 用)

研究課題名	薬剤溶出型ステント／ガイドエクステンションカテーテル市場実態調査
研究期間	西暦 2017年 12月 4日 ～ 西暦 2017年 12月 20日
研究の目的と意義	<p>前回 DES（薬剤溶出型ステント）市場実態調査を行った 2016 年第 4 四半期の市場から、今年は更に新製品の発売により市場が変化をしている中で、昨年の調査結果と比較をすることで、術者の意識の変化やデバイスの使われ方の変化を探り、新製品を含めた DES に対する認識を術者視点での確に把握し、今後の製品開発、最適な使い分けの提案及び製品販売計画立案に活用していくことを目的としています。</p> <p>『SYNERGY』新製品を含めた DES に対する認識を術者視点での確に把握し、今後の製品開発、最適な使い分けの提案及び製品販売計画立案に活用し、『GUIDEZILLA II』の実臨床での使用実態調査を行うことによって、インターベンションに携わる医師の新製品に対する評価と現在のガイドエクステンションカテーテルに対する認識を顧客視点での確に把握し、今後の製品開発、最適な使い分けの提案及び製品販売計画立案に活用できると考えられます。</p>
研究方法	<p>虚血性冠動脈疾患の治療で冠動脈にSYNERGYを留置した患者さんを対象に、</p> <p>①使用状況を把握するため患者/病変背景、製品の使用感に対する評価 ②使用する術者の各DES及びガイドエクステンションカテーテルに対する意識調査</p> <p>を調査項目とし、調査票に記載後依頼者に提出します。 本調査では、新たな検査や投薬等を行わず、日常診療の中からの情報のみを用いて行ないますので、患者さんへの新たな負担等は発生しません。</p>
個人情報の保護、研究参加の拒否について	<p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。</p>
結果の公表	<p>研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません。</p>
問合せ先	<p>【研究責任者】 京都第二赤十字病院 循環器内科 部長 藤田 博 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代）</p>